京都帝國大學新聞

月二回 十一日・二十一日發行

講讀料 一部五錢（郵税五厘） 一年一圓（郵税とも）

廣告 一行につき金五十錢（記事中は二倍） 揭載ページを指定するときは二割増とす

編輯兼印刷發行人 入山雄一

發行所 京都帝國大學學友會新聞部 振替大阪七三二八九 電話上三九〇八番

號外 昭和八年五月二十七日

（大正十四年四月十五日第三種郵便物認可）

# 飽くまで文政當局と抗爭！

## 嵐と闘って立つ 悲壯！學の防護陣

### 法學部全員總辭職大詰の日 學生大會の意氣もの凄し

法學部全員總辭職の導火線となつた、瀧川教授の休職が閣議で決定された廿六日、…なく包れ、早朝、宮本法學部長に次いで登學した小西總長が、突如部長會議を召集き、それを取りまいて各社の記者、寫眞班が灰色の沈默でひかゝる、學生も…法學部最後の講義となつた、佐々木教授の憲法は次に來るものを暗示しつゝ、…曾有のエピローグが各社の號外の振鈴によつて學内に告げられる、法學部學生…めとする先輩團の激勵の電報等々が學園蹂躙をカットバックに書く、午後三時…括提出する、宮本部長の姿が總長室に消にこゝに世界教育史上初めてみる學問…

瀧川教授休職決定の日、同時に法學部總辭職の切札を投げつけるの日、公報を今か／＼と待つ悲壯なる午後三時半から第一教室に法學部學生大會を開く旨を揭示してあつたが、機を窺んで集る學徒千五百、定刻既に會場立錐の餘地もない、三十五分委員の開會の辭に次き、推されて渡邊君議長席に着いた、先づ委員井上君起つて學内外における學生運動の經過及び當局と本學の決裂に到るまでの經緯を說きたる後、議長「豫定より後れ未だ公報到達せざるため會の順序を變更す」と宣して直に各高校同窓代表の演說に移る、佐高より五高に到る十二校代表何れも起つて文部當局の非を鳴らし、學園の自由を死守す…

森口繁治氏

末廣重雄氏

瀧川幸辰氏

中島玉吉氏

田村徳治氏

佐々木惣一氏

末川博氏

山田正三氏

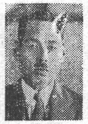
井上直三郎氏

鳥賀陽然良氏

恒藤恭氏

宮本英脩氏

牧健二氏



宮本英雄氏

渡邊宗太郎氏

田中周友氏

## 謹しんで…… 講義を辭退する

### 經濟學部學生聲明

經濟學部教授會の微溫的態度に憤慨した同學部學生は一昨廿五日頃より積極的に動き出し學の擁護の爲め法學部學生支持を表明してゐたが、昨二十六日法學部教授ら總辭職の報來るや直ちに學内各所に高校別會議を開き全經濟學部學生の今後の態度に就いて協議するところあり、折から開催中の法學部學生大會へ左の如き聲明書を發表していよ／＼全經濟學生は、本日より經濟學部教授會の積極的行動を要望してサボタージュに入ることゝなつた

今ヤ文相ノ横暴ニヨリ、學園ノ自由ハ全ク地ニ墜チ、光輝アル傳統ヲ誇ル京大法學部ハ閉ザサレントス、コノ時ニ當リ、吾等經濟學部學生ハ、生ノ親ヲ同クセル法學部ノ壞滅ヲヨソニ、安閑トシテ學府ノ形骸ニ學ブヲ得ズ、吾等、研究ノ自由ヲ奪ハレ、眞理ノ探究ヲ阻碍サレ、イサ、カモ顧ル處ナキ經濟學部教官ノ講義ニヨリ何ノ益スル所カアラン、學ノ自由、學ノ獨立ノ在在スベキハ大學令第一條ノ示ス所ナリ、吾ラハコノ自由、コノ獨立アラバコソ、就學スルヲ得ルナリ、今ヤ蹂躙サレタルコノ我ガ、學園ガ立チ上リ、昔日ノ如キ巖然タル象牙ノ塔ヲ誇リ得ルトキ來ラバ、吾ラハ即時、欣然トシテ學ニ就クモノナリ、前述ノ理由ノモトニ、經濟學部教官ノ講義ヲ謹ンデ辭退ス

右聲明ス

廿六日

經濟學部學生一同

…を考慮しないでもなかつた、だが眞理のためにはこれも止むを得なかつた」との肺肝を貫く一語／＼に學徒何れも師父の厚情に感涙して遺志を繼して戰ふべしと誓つた、この光榮こそ自由主義の歷史上永久に記憶さるべきであろう、次いで助教授代表黑田覺、講師、助手、副手代表田中助…に助けられ杖にすがつた姿に眼頭のあつくなるのを覺ゆた、恩師を見送つた後始めて立つたのは大學院學生代表で「何を以てか此の死骸のみの學園に留まらん」との聲明書を朗讀した、此の時經濟學部高代會議代表は痛快なる講義ボイコットを聲明して一同の意氣益々上つた、續いて各高校同窓の連署せる決議文を三十三校の代表次々名を一任された議長の呼出で文相に會見すべき代表十名は壇上整列して推戴さるゝの責務に答ふ全堂に谺する聲援裡に宣誓を終つた、此處に漸くさしもに感激昂奮の舞臺は中央部員の閉會の辭に終つたが時正に六時五〇分、斯くて教授團の名譽ある「死の勝利」を繼いだ血のにじむ歷史的大闘爭は、愈々こゝに火ぶたを切つた

## 劇研も起つ 公演を中止して

來月三日第一回公演を計畫してゐた京大劇研究會では、瀧川教授問題の勃發にかんがみ、この際の公演は明かに全學生の期待にそむく…

### 決議書を文相に手交す けふ東上

昨廿六日の法學部學生大會に於て可決した決議書は左の諸君から鳩山文相に手交するはずであるが、一行は多分今日午後一時卅九分京都驛發の燕になるらしい

派遣員▽間瀨忍雄▽安間正…大竹正三▽井上利行▽山本…▽箕輪勝三郎▽武田文夫▽…重喜▽吉田太郎▽齊藤四郎

### 決議書大要

先に運動の理と情の有する…を明にして猛省を促し文教…者としてその責を全ふされ…とを切望せるになほその態度を改めず強權を行使し遂に大學自治學問研究の自由を蹂躙…

### 各帝大へ辯士を

…

# 研究の自由なき學園に何の執着ぞ

## 法學部教授ら袂を連ねて 遂に辭表を提出す

嵐の使ひ――赤自轉車に乘つた電報配達夫が本學正門に飛び込んだのは廿六日午後三時四十分、那頃の通り瀧川教授休職仰せつけらる旨の電報である、緊張しきつた學内は、豫期してゐたことながら一時にざはめき立つた、よつて宮本部長は一旦法經研究室に引き上げ教授會にこれを傳へた、つひに來るべき時は來たのだ、宮本部長はかねて手許に取揃つてゐた教授、助教授、講師、助手、副手の辭表四十通と法學部大學院學生の退學屆け六十九通を紫のふくさに包み、蒼白な顏を緊張させて總長室への階段を一歩一歩ふみしめて登つた、時正に四時十五分、ふくさを左脇に部長は、しばし感慨深げに總長室の扉に向つて佇立、新聞社寫眞班の寫眞を撮るにまかせた、かくて總長室に消えた部長は會見十七分、靜かに退室した、こゝに法學部は教授以下副手まで全員辭表を提出し終り、事實上法學部の機能は全く停止するに至つた

## 「總長の責任に非ず」 「いや私の微力の致す所」と 讓り合ふ劇的シーン

かねて保管中の教授、助教授、講師、助手、副手を一括して四十通の辭表を提出のため宮本學部長は總長室において小西總長に會見したが、總長は辭表提出の宮本今部長にことこゝに至つたのは全く自分の微力の致すところである旨自分の責任の如くにのべたに對し、宮本部長は決して總長の責任ではなく、全然文政當局の責任で、これは文部省に提出するものである旨をのべ會見十數分にして辭去した

## 小西總長遂に 辭意を洩らす

### 廿六日の學部長會議で

…

### 教授一同聲明

…

### 助教授一同聲明

…

### 講師助手副手一同聲明

…

### 大學院學生一同聲明

…

### 辭表を提出した八助教授

…

### 學生聲明書

…